

高耐久ボールで、練習コートの景色が変わる!

# NX1を 選ぶ理由!



ブリヂストンから新たにテニスボールが発売された。「ブリヂストンの従来品より明らかに耐久性の高いメルトン使用」\*を謳い、「耐久力」を前面に押し出した「NX1」は、練習球の価格帯で長寿命という、経済的な公認ボール。フレッシュルックスの「NX1」は、これからの練習コートの景色を変える!

取材協力=フェアリーテニスフォーラム  
テスト協力=中央大学テニスサークル [LAWN (ローン)]  
構成・文=松尾高司 (KAI project)  
\*ブリヂストンスポーツ調べ

## 「NX1」の耐久性を体感 3日打つてもまるで 新品に見える「NX1」

「ブリヂストンから新しいボールが出る」という情報を得る。「とにかく耐久性の高さが特徴。新採用フェルトが、毛羽立ちや摩擦を抑え、ボールとしての寿命を長く保つことができる」という、高耐久性ボールである。さっそく耐久試験をしてみようということで、中央大学の強豪テニスサークルである「LAWN」の有力メンバーの7人をお願いして、3日間、練習で打ってもらった。耐久性の違いを比較するため、練習用ボールのブリヂストン「ツアープロ」とまったく同じ条件で打ち較べてもらった。

最初にコメントしてくれたのは若井亮さん。「並べてみても「NX1」は明らかにフェルトの劣化が少ないですね。摩擦が少なく、耐久性が桁外れに高いです」と、驚いた様子。打球感については「いつも使っているブリヂストンの練習球「ツアープロ」よりも手応え感のある感触で、最高グレード「XT8」に近い感じがします」というコメントだ。

また堀内翼さんも「NX1」は「ツアープロ」に比べて、しっかりと感触で、それが最後まで続く感じがしました。試合が近くなった時には、しっかり打感の「NX1」で練習したいです」と、ずいぶん気に入った様子である。

女性としてはなかなかのハードヒッターである倉持里沙さんも「私がビックリしたのは、1日だけ雨の中

大学同好会の中央大学ローンの練習にて「NX1」をテストしてもらった。



砂入り人工芝でも行なうが、ハードコートでの練習が多いという。フェルトの劣化に関しては目が肥えている



「耐久性が桁外れに高い」と若井さん



「雨の日に打っても毛羽立ちが少くない」と倉持里沙さん  
1缶につき5ポイントの「Tポイント」係に立候補の飯田恭平さん

## テニスボールは「マコウ」になっている

### テニスボールの耐久性とは何か?

さて、「NX1」の高い耐久性は、学生たちの試打テストによって証明されたが、そもそも「ボールの耐久性」とはなんだろう?  
テニスボールは、球体を保つ「コアボール」と、その外側に貼られる「フェルト」で成り立っていて、我々が一般的に使っている「フレッシュライズドボール」は、コアボールのゴム自体が持つ弾力性と、コアボール内に封入されたガスの内圧(内側からボールを膨らませようという力)という2つの反発力で支えられている。

また耐久性も「ボールの反発力の維持性」と「フェルトの耐摩耗性」という2つの要素がある。新品のコアボール内には約1・8気圧の内圧がかけてられているが、インパクトを重ねていくうちにガスは徐々に抜けて、次第に柔らかくなっていき、反発力が落ちて飛ばなくなるし、打たなくてもガスは自然に抜けてしまう。さらにフェルトの耐久性は、実は見た目の印象以上に重要。毛の擦り切れや汚れだけでなく、フェルトにはテニスボールの機能を支える、大切な役割がある!

### テニスボールは、なぜ「包まれた」のか?

世界中の全てのスポーツで、「フェルト」で包まれたボールを使うのは唯一、テニスだけ。これはテニスの発祥と大きな関わりがある。テニ

スの原型はフランス宮廷内の遊びで、当時の宮廷貴族たちは、硬いボールを直接、自分の手のひらで打ち合っていたが、ゴムのなかった当時、ボールは弾まず、痛いくらいに強く叩かなければちゃんと打ち返すことができない。そこで彼らは、ボールを柔らかい布で包んで、快適に遊ぶことを考えた。これが「コアを柔らかいもので包む」というテニスボールの原点だと思われる。

そして19世紀後半になってゴムボールが発明された時、別の意味の「包む」が誕生する。それが「ボールの保護」である。当時、ゴム製のテニスボールは極めて高価であったため、傷つかないようにウール地でボールを包んだのだ。つまり、耐久性向上という使命を帯びて現代テニスボールは誕生したのだ。

### フェルトに秘められた もっと重要な機能

フェルトの機能としてあまり知られていないのが「打球弾道を安定させる」こと。野球のフォークボールや、サッカーのプレッシュコートは、ボールを回転させないことで飛球弾道を不規則にする変化球だが、テニスでは逆に「安定させること」が重視される。

ボールが無回転で飛ぶと、ボール表面に発生する空気の流れが乱れ、弾道をブレたり沈んだりさせる。ボール表面がツルツルであればあるほど、空気の流れは乱れるのだ。ところがテニスボールのように毛羽立っていると、逆に空気はきれいに流れ

フラットで打ったボールでも真っすぐに飛んでいく。サメ肌加工の競泳水着が水の抵抗を少なくしたのと同じ効果である。

現代テニスに必須であるトップスピンは、空気抵抗を積極的に利用することで弾道を安定させる。だから、フェルトが擦り切れてツルツルになったり、毛羽立ちすぎるとスピんがかかりにくい。

フェルトの毛はインパクトのたびにこに引きちぎられていくが、むしろそうさせることでボールの大きさが維持され、弾道も安定する。しかし最初から「毛羽立ちにくい」擦り切れにくい「フェルトならば、気にしなければならぬのは、コアボールの反発性能だけでいいことになるだろう。

### 購買コストと 寿命コストの融合点

フェルトが擦り切れにくければ、同じ打球感を保ちやすくなる。これは全てのテニスプレーヤーの願いはないだろうか。

ブリヂストン「NX1」は、練習に使えるリーズナブルな価格帯のITF公認球。しかも新採用フェルトの耐久性は、驚くほどに長かったとの声が…。これは事実である。フェルトの耐久性はボール性能の寿命に直結し、特にたくさんのボールを使う部活・サークルの練習には大きなメリットをもたらすだろう。購買コストと寿命コストが、十分満足レベルで融合した「NX1」をぜひ試してみしてほしい。



ブリヂストンスポーツ (株)  
お客様コールセンター: 0120-116613  
(土日・祝日、当社指定休日は除く。月～金10:00～17:30)  
ホームページ <http://www.bs-tennis.com/>

テニスボール「NX1」はテニス用品メーカー初のTポイントとの提携。  
1缶 (ボール4球) ごとに5ポイント。箱買いのサークルにはうれしいサービスだ